

政策の柱	Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために	政策名 (基本施策名)	5 健全な青少年を育成する	施策名	① 青少年の社会的自立の促進
------	------------------------	----------------	---------------	-----	----------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値,下段:実績値)						達成率			
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H23			
					基準年	実績	実績	実績	実績	見込み	H24見通し			
◆青少年の社会参加を促進するため、子どもの体験活動の促進やジュニア未来議会の開催、青少年活動センターの運営などに取り組んでいる。 ◆健全育成活動を推進するため、ふれあいのある家庭づくり事業や青少年の居場所づくり事業、青少年育成団体の活動支援に取り組んでいる。 ◆青少年の自立支援対策を推進するため、総合相談事業の実施や社会参加体験事業に取り組んでいる。	◆総合計画の指標である若年者における非労働者の割合については、平成24年度中に把握予定である。 ⇒昨今の社会経済情勢を勘案すると、目標達成は難しいものとする。 ◆自立支援相談件数は、相談窓口の周知を行ってきたことにより、対象者の掘り起こしが図られ、H20と比較して約4倍に増加している。 ⇒今後も増加することが見込まれる。	-%	若年者(15～34歳)における非労働者(家事・通学を除く)の割合	%	1.1						1.0	—		
			自立支援相談延べ件数	件	—	150	400	650	700	750	140.5%	252	638	796
課題	◆社会経済環境や雇用が悪化する中で、ニートや引きこもりなど社会的自立が困難な青少年が自立に向かうことができるような支援策を充実していく必要がある。 ◆青少年が社会的自立に困難を抱えることなく健やかに育つよう、幼少期から青年期に至るまで、ライフステージに応じて、様々な体験活動や機会の提供を関係機関や地域団体との連携により行っていく必要がある。													
			市民意識調査(重要度・満足度)											
						H20	H21	H22	H23					
			重要度		77.3	75.8	78.5	70.4			%			
			満足度		24.3	26.1	27.9	35.4			%			

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
青少年の自立支援に関する総合相談事業	○	→ 拡充	青少年自立支援センター独自の広報紙「ふらっぴだより」などを活用し、相談窓口の周知を広く図ることで、家庭に潜在化するニートや引きこもりの掘り起こしを着実に進めている。また、「いじめ・不登校の延長」や「就職活動のつまずき」等と多種多様な自立阻害要因を持つ青少年への適切な相談対応を実施していくため、事例を踏まえた所内での勉強会を積極的に行い、相談員のスキルアップに努めている。 ⇒さらに相談対応機能を強化するため、平成24年度当初には相談対応実務マニュアルを完成し、それをもとにより効果的な相談や支援を実施する見通し。	雇用情勢の悪化などの要因も重なり、社会的な自立に困難を抱える青少年は今後も増加することが見込まれることから、さらなる掘り起こしやより効果的な支援に向けた地域や関係機関、関係団体との連携強化、相談対応機能の強化が必要である。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値、下段：実績値）					重点度（A～C） ※施策目標に対する寄与度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績				
1	青少年自立支援対策事業	おおむね35歳未満の青少年とその保護者	H19	就労に至った人数	人	5	10	15	20	25	A	継続	雇用情勢の悪化などの要因も重なり、社会的な自立に困難を抱える青少年は今後も増加することが見込まれる。そのため、引き続き相談窓口の周知を行うことにより、まだ家庭に潜在化すると見込まれるニートや引きこもりの掘り起こしを図っていくとともに、平成24年度当初に作成した「相談対応実務マニュアル」を活用しながら、青少年一人ひとりの適性や状態に応じたきめ細やかな相談や支援を計画的に行う。また、奉仕活動などの社会参加体験事業の内容充実を図るほか、関係機関・団体等との連携強化に努めるなど、より効果的な自立支援手法の構築を行う。
				自立支援相談の延べ件数	件	150	400	650	700	750			
2	ふれあいのある家庭づくり事業	子ども・親・地域・学校・企業等	S41	ふれあいのある家庭づくり作品コンクール応募数	件	500	500	800	900	900	A	継続	ふれあいのある家庭づくり作品コンクールや宮っこフェスタなどのイベントの開催、宮っこ子育て応援なびなど、様々な機会や手法を活用するとともに、地域、学校、企業などと連携し、「家庭の日」の認知度の向上を目指す。
					件	482	797	843	903				
3	宮っこフェスタ交付金	子ども・大人・地域・企業	H14	事業参加団体数（参加・協賛・協力）	件	150	150	150	150	150	A	継続	地域全体で青少年を育成する市民意識の醸成を図るため、市民、団体、企業と連携し、事業内容の充実を図る。また、青少年がフェスタへの参加を通して「学び」を実践できる機会を提供するなど、社会参画機会を充実する。
					件	145	183	162	138				
4	宇都宮市青少年育成市民会議補助金	地域（宇都宮市青少年育成市民会議）	H12	市民会議の活動回数（会議回数・事業実施回数）	回	33	33	35	35	35	B	継続	社会全体で青少年の健全育成を推進するためには、地域が主体となって取り組むことが重要であることから、各地区における青少年育成会を中心として、青少年健全育成活動や良好な環境づくりを推進するための活動を実施するとともに、それらが全市民的な活動となるよう引き続き支援していく。
					回	33	24	19	13				
5	青少年活動センター事業費	35歳未満の青少年及びその保護者	H20	青少年対象事業の延開催回数	回	9	11	500	500	500	B	継続	青少年の健全育成や自主活動、交流の促進に向けて活動センターの事業の充実を図る。また、利用者が学んだ成果を地域活動などにつなげていくための仕組みづくりを行なう。
				勤労青少年対象事業の延開催回数（22年度から青少年対象事業へ統合）	回	500	500	—	—	—			
6	青少年育成推進費	青少年・青少年育成指導者	O	ジュニア未来議会の参加者数	人	50	50	50	50	50	B	継続	青少年の社会性や主体性を養う機会である「ジュニア未来議会」への参加を契機に、次代のリーダーとして成長できるよう、市の関連事業へのボランティア参加など活躍の機会を提供する。また、地域での青少年育成指導者の指導力の向上と情報交換を行うことができる場として研修会等の実施や研修内容の充実を図る。
				仲間づくり団体数	団体	17	17	17	17	17			
7	青少年活動センター整備費（単独）	青少年活動センターの利用者	H20	施設の改良整備	箇所	1	1	1	0	1	B	継続	施設の老朽化が進んでいることから、緊急性や老朽化の状況などを踏まえ、優先順位の高いものから整備を実施し、安全かつ快適に施設が利用できる環境を整える。
					箇所	2	2	1	0				
8	宇都宮市青少年団体連絡協議会補助金	青少年団体連絡協議会	S47	青少年の体験活動の実施回数	回	7	5	5	5	5	B	継続	青少年団体連絡協議会のさらなる活性化を図るため、新たな加盟団体の増加を目指す。また、団体相互の情報交換や交流機会を確保するため、今後も継続して情報交換会等を実施する。
				情報交換会等の開催数	回	10	10	10	12	12			
9	青少年育成河宇地区連絡協議会	青少年育成河宇地区連絡協議会	S43	会議及び研修会の開催数	回	8	8	8	8	8	C	継続	広域的な青少年の健全育成を図るためには地区関係機関・団体との連携強化が重要であることから、市町の枠を越えた情報交換や研修会等を実施する。
					回	7	5	5	6				
再掲	青少年の居場所づくり事業	小学生・中学生・高校生	H15	地域における青少年の居場所の実施箇所数	箇所	25	35	39	39	39	—	継続	地域における青少年の居場所は、異世代交流などを通して人間性や社会性を養う上で有効であることから、地域団体などとの連携を図りながら設置促進を図る。また、中高生の利用促進を図るため、見守り役やサポートなど役割を与えるなど、中高生が参加しやすい仕組みを検討する。
					箇所	25	24	23	23				
再掲	社会体験学習推進事業	宇都宮市立中学校2年生の生徒全員	H14	充実した体験をした生徒の割合	%	100	100	100	100	100	—	継続	キャリア教育において、中学校での重要な体験活動である。勤労観を高めていくために、今後とも推進していく必要がある。
					%	91	91	93	93				